

実用書式・ペン習字 選択の人へ

美しい文字を書くために、そして正しい書式を知るためにこの講座はあります。
ですから、この課題に取り組む間だけ

○丁寧を書く

○納得がいかない文字は消して書き直す

という姿勢で取り組んでください。雑な字を書き続けていると下手にはなっても上手くなることはありません。それだけを約束してくださいね。

今年度の担当者は、4人でおこないます。どの担当になるかは、また登校してからですが、一年間、どうぞよろしく (*^^*)

『ペン習字の基礎』石川芳雲著 をこの一年使用します。まさかとは思いますが、買いそびれたなどという人は至急連絡してくださいね。

まずは、裏表紙に 年、組、番、氏名を **あなたの一番丁寧な文字**で書きましょう。

用具は**ボールペン**か**名前ペン**(細字用)です。

ところで、テキスト P2 には「硬筆の筆記用具について」が書かれています。授業で主に使うのは、鉛筆(シャープペンシル可)、ボールペン、筆ペンの予定です。**購入についてはまだ待ってください。まずは手元にある用具で始めましょう。**

今回の課題は P46 です。

『ひらがな』の『あ』～『つ』。平仮名なんて小学生みたいとあなどらないでね。平仮名は平安時代に確立されたもので、漢字の音を借り、日本語として表記したものです。しかもみんなが日常的に見る楷書(活字のような書体)ではなく、草書(みんなの言う、つづけ字をもっと簡略化したもの)です。ですから曲線が多く、美しく書くのはむずかしいです。むずかしいからこそ、高校生には美しく書いてもらいたいという願いをこめて、まずは平仮名からいきます

次のページに美しく見えるポイントをはりつけておきます。

よく読んで、取り組んでくださいね。用具は、鉛筆かシャープペンシルです。何度も書き直して、納得いく文字を書いてくださいね。

ていねいに取り組んでもらいたいので、課題はほんの 1 ページです。

それ以上は、書きたくてもまだ書きすすめないでね。

8 ひらがな

(筆記用具) 万年筆

平仮名は漢字の草書体からできまーた、そのため曲線が多いです。
鉛筆かシャープペンシルで上手く、かぎりは何度も消して書き直しましょう

か	お	え	う	い	あ
か	お	え	う	い	あ
し	さ	こ	け	く	き
し	さ	こ	け	く	き
つ	ち	た	そ	せ	す
つ	ち	た	そ	せ	す

か
平行

お
点の高く

え
点の高く

う
点の位置注意、すより右側に

い
ふくらむ
右側に

あ
曲線的に

こ
ふくらむ

さ
横画のまじりを通る

き
横画のまじりを通らない

す
横画を長く

す
横画を2:1に分ける

そ
ふくらみすぎ注意